

CITIZEN®

取扱説明書

この時計の機種番号: C660

このたびは、シチズンウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用の前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。

Web取扱説明書

QRコードより、この時計のWeb取扱説明書をご覧ください。

citizen.jp/support/guide/html/c660/c660.html




- 最新情報やお知らせなどはこちらをご覧ください。
- 外装機能(計算尺、タキメーターなど)の操作方法もご覧ください。外装機能の搭載は、モデルによって異なります。





安全にお使いいただくために—必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、**66～77**ページを必ずお読みください。

■ 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

この時計の特長



ワールドタイムとワールドアラーム

世界30地域の時刻とUTC(協定世界時)を表示します。
また、同時に2つのアラームを設定可能です。



レースタイマー

タイマーとクロノグラフ
が連続して機能します。



コンビネーションウォッチ

デジタルとアナログで
別々の時刻を表示します。



クロノグラフ

1/100秒単位で最大24
時間まで計測します。



エコ・ドライブ

光で充電するため、定期的
な電池交換はいりません。

* 「エコ・ドライブ」は、シチズン独自の技術です。

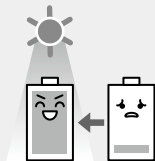
もくじ

ご使用になる前に.....	8
バンド調整について.....	9
保護シールについて.....	9
特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた.....	10
各部の名称.....	11
デュアルタイムについて	13
充電について	15
時計の表示を見やすくする.....	20
時計のモードを切り替える.....	21
時刻を表示する地域を切り替える[TME] ...	24

カレンダーを見る[CAL]	27
アナログ表示の時刻を入れ替える[TME] ...	28
時刻を合わせる[TME]	30
カレンダーを合わせる[CAL]	34
アラームを使う[AL-1][AL-2]	36
タイマーを使う[TMR]	40
クロノグラフを使う[CHR]	44
レースタイマーを使う[RACE]	46
表示する地域を設定する[SET]	52

困ったときは	54
基準位置を確認・修正する[CHR]	54
時計の状態と対処方法	60
エコ・ドライブ取り扱い上の注意	66
防水性能について	68
お取り扱いにあたって	70
保証とアフターサービスについて	78
製品仕様	80
お問い合わせ窓口	82

ご使用になる前に



この時計は、文字板に光を当てて充電します。
時計を快適にお使いいただくために、時計に光
をこまめに当てて充電してください。
充電については**15～19**ページをご覧ください。

■バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)。

バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

■保護シールについて





時計のガラスや金属部分(裏ぶた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

■特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた

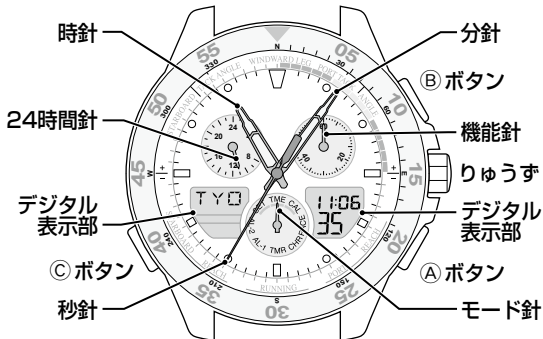
モデルによっては、防水性を高めたり誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

ねじロックりゅうず・ねじロックボタン

時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロック りゅうず	 りゅうずが飛び出すまで、左に回す	 りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める
ねじロック ボタン	 ねじを左に回し、止まるまでゆるめる	 ねじを右に回し、しっかり締める

各部の名称



- お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。
- ソーラーセルが文字板の下に配置されています。

次のページに続く

デジタル表示部

各機能ごとに表示が切り替わります。

時刻



地域名



表示地域の時刻:
時、分、秒

タイマー



設定時間



残り時間:
分、秒

カレンダー



地域名



表示地域の暦:
月、日、曜

クロノグラフ



経過時間:
時



経過時間:
分、秒、1/100秒

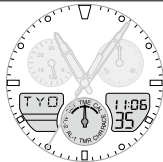
デュアルタイムについて

この時計は、アナログ表示とデジタル表示部で別々の地域の時刻を表示させることのできるデュアルタイム時計です。



アナログ表示

時針、分針、秒針、24時間針で表示されます。
時計のモードに関係なく、時刻を表示し続けます。
• 一部のモードで、秒針は異なる働きをします。



デジタル表示部とモード針

時計のモードを切り替えて、カレンダー、アラーム、クロノグラフ、タイマーなどを表示させることができます。
地域表示で、どの地域の時刻が表示されているかを確認できます。

次のページに続く

アナログ表示の時刻合わせについて

アナログ表示の時刻は、直接時刻合わせをするのではなく、デジタル表示部の時刻と入れ替えて行います。

詳しくは、「アナログ表示の時刻を入れ替える[TME]」(**28** ページ)をご覧ください。

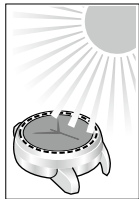
充電について

この時計は、文字板の下にあるソーラーセルによって発電された電気エネルギーを、内蔵の二次電池に蓄えることができます。

充電は、文字板に直射日光や蛍光灯などの光が当たると行われます。

次のような充電を心がけると、時計を快適にご使用いただけます。

- 時計を使用しないときでも、太陽光の当たる窓際などの明るい場所に置く
- 月に一度は時計の文字板を太陽に向けて、5～6時間直射日光に当てる
- 光の当たらない場所で長期保管をしない



次のページに続く

注意

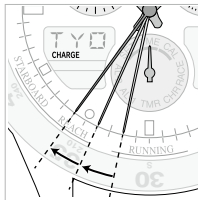
- 故障の原因となりますので高温下(約60℃以上)での充電はおやめください。
 - 衣服などで時計が隠れて光に当たらないと、十分に充電できないのでご注意ください。
-
- 充電完了後、時計は自動で充電を停止します(過充電防止機能)。充電のしすぎによって、時計や二次電池の性能が損なわれることはありません。

■充電不足になると(充電警告機能)

充電不足になると「充電警告機能」が働き、秒針が2秒ごとに動きます(2秒運針)。

また、デジタル表示部で「**CHARGE**」が点滅します。
すみやかに文字板に光を当てて充電してください。

- しばらく充電すると、秒針が1秒ごとに動くようになります(通常運針)。
- 2秒運針が1.5日間以上続くと、充電不足で時計が停止します。



充電警告中(2秒運針中)は

時刻は表示されます。その他の機能は使用できません。

■環境ごとの充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

環境	明るさ (lx、ルクス)	充電時間(約)		
		通常に動く状態を1日保つ	時計が停止してから通常に動き出すまで	時計が停止してから充電完了まで
屋外(晴天)	100,000	3.6分	1.2時間	7.5時間
屋外(曇天)	10,000	7.1分	1.8時間	14時間
30W蛍光灯の20cm下	3,000	24分	4.9時間	47時間
屋内照明	500	2.4時間	28時間	—

- ・直射日光での充電をおすすめします。蛍光灯や屋内照明では、十分に充電するには明るさが不十分です。

■パワーセーブ機能

ケースの中などの暗所で、文字板に光が当たらなくなり時計の充電が止まると、節電のため、秒針が停止し、デジタル表示が消灯します。

そのまま、さらに3日間以上充電されない状態が続くと、すべての針が12時位置で停止します。

- ・ パワーセーブ中も、時計内部では、時刻・カレンダーは正しく動作しています。

パワーセーブを解除するには

文字板に光を当てて充電すると、時計は通常表示に戻ります。

- ・ 通常表示に戻る際に、針や表示が高速で動くことがあります。

■充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで
パワーセーブ機能が働くと、およそ4年間時計は停止しません。

時計の表示を見やすくする

時針と分針を一時的に動かして、下に隠れたデジタル表示や小さな針を見やすくします。

- ・ 時針や分針の移動中や基準位置の修正中は、動きません。



1 ㊤ボタンを2秒間以上押す

時針と分針が動き始めます。

2 表示が見やすくなったら、㊤ボタンを押す

時針と分針が止まります。

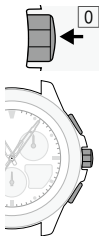
- ・ ボタンを押さないと、12時を表示するまで針が動き続けます。

3 ㊤ボタンを押して、終了する

時針と分針が、時刻表示に戻ります。

時計のモードを切り替える

この時計の各機能は、モードを切り替えて使用します。
現在の時計のモードは、モード針の表示で確認します。



1 りゅうずの位置を[0]にする

2 りゅうずを回して、モードを切り替える

デジタル表示が各機能の表示に切り替わります。




・モード針は、表示の中央に合わせます。





各機能を使い終わったら、モードを[TME]に戻します。

次のページに続く

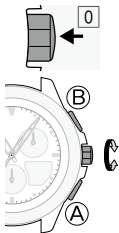
各機能について

機能	モード表示		機能説明	ページ
時刻表示 (通常使用)	TME		デジタル表示部に、現在の設定地域名と、その地域の現在時刻が表示されます。	24
カレンダー	CAL		デジタル表示部に、現在の設定地域名と、その地域のカレンダーが表示されます。	27
レースタイマー	RACE		レースに使用する時間があらかじめ設定されたタイマーです。	46

機能	モード表示		機能説明	ページ
クロノグラフ	CHR		最大24時間まで計測できる、1/100秒ストップウォッチです。	44
タイマー	TMR		最大99分までの任意の時間を1分単位で設定できるタイマーです。	40
アラーム	AL-1 AL-2		2つのアラーム時刻を設定することができます。	36
地域表示設定	SET		地域名を表示させるかどうか設定します。	52

時刻を表示する地域を切り替える[TME]

デジタル表示部の時刻を、世界30地域とUTC(協定世界時)から選んで表示させることができます。



1 りゅうずの位置を0にする

2 りゅうずを回して、モードを[TME]にする

3 ①ボタンまたは②ボタンを押して、地域表示を切り替える

- ボタンを押すごとに、切り替わった地域の時刻がデジタル表示部に表示されます。
- ボタンを押し続けると、押し続けている間、表示が連続して切り替わります。

■ 地域名と時差(UTC基準)の一覧

この時計で選択できる地域名と時差の一覧です。

- ・ 時差は、国や地域の事情により変更されることがあります。必ず、現地時刻を確認の上ご利用ください。
- ・ 一覧表にない地域の時刻を表示したいときは、同じ時差の地域を設定してください。

表示	地域名	時差
UTC	(協定世界時)	±0
LON	ロンドン	±0
PAR	パリ	1
ROM	ローマ	1
CAI	カイロ	2

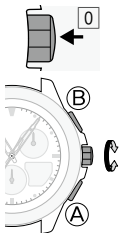
表示	地域名	時差
IST	イスタンブール	2
MOW	モスクワ	3
KWI	クウェート	3
DXB	ドバイ	4
KHI	カラチ	5

■地域名一覧(つづき)

表示	地域名	時差
DEL	デリー	5.5
DAC	ダッカ	6
BKK	バンコク	7
SIN	シンガポール	8
HKG	香港	8
PEK	北京	8
TYO	東京	9
SYD	シドニー	10
NOU	ヌーメア	11
AKL	オークランド	12
HNL	ホノルル	-10

表示	地域名	時差
ANC	アンカレジ	-9
LAX	ロサンゼルス	-8
DEN	デンバー	-7
CHI	シカゴ	-6
MEX	メキシコシティ	-6
NYC	ニューヨーク	-5
YUL	モントリオール	-5
CCS	カラカス	-4
RIO	リオデジャネイロ	-3
BUE	ブエノスアイレス	-3

カレンダーを見る[CAL]



- 1 りゅうずの位置を0にする
- 2 りゅうずを回して、モードを[CAL]にする
- 3 ①ボタンまたは②ボタンを押して、地域表示を切り替える
 - ・ ボタンを押すごとに、切り替わった地域のカレンダーがデジタル表示部に表示されます。

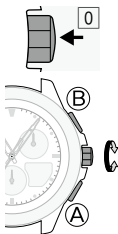
使い終わったら、モードを[TME]に戻します。

アナログ表示の時刻を入れ替える[TME]

アナログ表示(時針、分針、秒針、24時間針)の時刻も、世界30地域とUTC(協定世界時)から選んで表示させることができます。

この時計のアナログ表示の時刻は、直接地域を選んで切り替えることはできません。表示したい地域の時刻をデジタル表示部に表示させ、その後、デジタル表示部の時刻をアナログ表示の時刻と入れ替えて表示させます。

- アナログ表示の時刻の入れ替えには、時間がかかる場合があります。その間、時計の操作はできません。
- アナログ表示の時刻について、地域名を表示させることはできません。



- 1 りゅうずの位置を0にする
- 2 りゅうずを回して、モードを[TME]にする
- 3 ①ボタンまたは②ボタンを押して、地域表示を切り替える
 - ・ ボタンを押すごとに、切り替わった地域の時刻がデジタル表示部に表示されます。
- 4 ①ボタンと②ボタンを同時に押す
 - ピッと確認音が鳴り、アナログ表示とデジタル表示部の時刻が切り替わります。

時刻を合わせる[TME]

地域を選んでその地域の時刻に合わせます。



1 リューズの位置を0にする

2 リューズを回して、モードを[TME]にする

3 ①ボタンまたは②ボタンを押して、地域を選ぶ



4 リューズの位置を1にする

デジタル表示部で、「SMT」が点滅します。

・「SMT」の設定については、32ページをご覧ください。





5 ②ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ

- ②ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わり、点滅します。

「SMT」→ 秒 → 分 → 時 → 12/24時間制 → (最初に戻る)

- 「秒」: ①ボタンを押すごとに、00秒になります。
- 「分」「時」: りゅうずを回して合わせます。
- 時間制: ①ボタンを押すごとに、「12 H」(12時間制)と「24 H」(24時間制)が切り替わります。

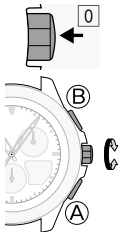


6 りゅうずの位置を0にして、終了する

■サマータイムを設定する

サマータイムとは、夏に一時的に時刻を進めて（ほとんどの場合1時間）、日中の明るい時間を有効活用するための制度のことで、欧米を中心に導入されています。

この時計では、地域を選んで、サマータイムを設定します。



- 1 りゅうずの位置を0にする
- 2 りゅうずを回して、モードを[TME]にする
- 3 ①ボタンまたは②ボタンを押して、サマータイムを表示させたい地域を選ぶ



4 りゅうずの位置を[1]にする

デジタル表示部で、「**SMT OF(OFF)**」が点滅します。

5 ①ボタンを押す

- ・ ①ボタンを押すごとに、「**ON**」と「**OF(OFF)**」が切り替わります。

ON	サマータイムが設定されます。
OF(OFF)	標準時刻が設定されます。

6 りゅうずの位置を[0]にして、終了する

サマータイムを「**ON**」に設定した地域では、デジタル表示部の地域表示の下に「**SMT**」が表示されます。



カレンダーを合わせる[CAL]

地域を選んでその地域のカレンダーに合わせます。

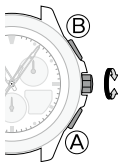
・曜は、設定された年月日から自動で表示されます。



1 リューズの位置を[0]にする

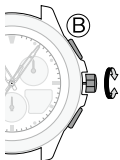
2 リューズを回して、モードを[CAL]にする

3 ①ボタンまたは②ボタンを押して、地域を選ぶ



4 リューズの位置を[1]にする
デジタル表示部で、月が点滅します。





5 ⑤ ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ

- ・ ⑤ ボタンを押すごとに、次のようにカレンダー合わせの対象が切り替わり、点滅します。
月 → 日 → 年 → (最初に戻る)
- ・ りゅうずを回して、それぞれ合わせます。



6 りゅうずの位置を[0]にして、終了する

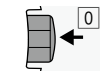
- ・ 使い終わったら、モードを[TME]に戻します。

アラームを使う[AL-1][AL-2]

アラーム時刻は、[AL-1]または[AL-2]にそれぞれ設定することができます。アラーム時刻は、表示中の地域の時刻で設定します。

- ・アラーム設定後、デジタル表示部で他の地域の時刻を表示しても、設定時の地域の時刻に応じてアラーム音が鳴ります。

■アラームの設定を確認する



1 リューズの位置を0にする

2 リューズを回して、モードを[AL-1]または[AL-2]にする

デジタル表示部に、アラーム時刻と「ON」/
「OF(OFF)」が表示されます。



■アラームの設定を変更する



1 りゅうずの位置を**0**にする

2 りゅうずを回して、モードを[AL-1]または[AL-2]にする

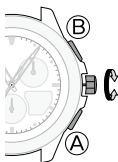
デジタル表示部に、アラーム時刻と「ON」/
「OF(OFF)」が表示されます。

3 ①ボタンまたは②ボタンを押して、アラーム時刻を表示する地域を選ぶ

4 りゅうずの位置を**1**にする

アラームの「ON」が点滅します。

- ・ ①ボタンを押すごとに、「ON」と「OF(OFF)」が切り替わります。



5 ②ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ

- ②ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わり、点滅します。
「ON」/「OF(OFF)」→ 時 → 分 → (最初に戻る)
- 「ON」/「OF(OFF)」: ①ボタンを押すごとに、「ON」と「OF(OFF)」が切り替わります。
- 「時」「分」: りゅうずを回して合わせます。



6 りゅうずの位置を0にする

7 りゅうずを回しモードを[TME]にして、終了する

アラーム音を止めるには

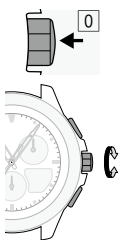
アラーム音は、いずれかのボタンを押すと止まります。

アラーム音を確認するには

時計のモードが[AL-1]または[AL-2]でりゅうずの位置が[0]のとき、
① ボタンと② ボタンを同時に2秒間以上押すと、アラーム音を確認することができます。

タイマーを使う[TMR]

タイマーの設定時間を変更する



1 りゅうずの位置を0にする

2 りゅうずを回して、モードを[TMR]にする
デジタル表示部に、タイマーの設定時間と残り時間が表示されます。



設定時間



残り時間(停止時):
分、秒



3 りゅうずの位置を1にする
タイマーの設定時間が点滅します。



4 りゅうずを回して、設定時間を変更する

- 1～99分間まで、1分単位で設定できます。
- 設定時間は、記憶されます。

5 りゅうずの位置を0にする

- 使い終わったら、モードを[TME]に戻します。



■タイマーを使う

タイマーは、モードを[TMR]にして使います。

- ・ 開始後、他のモードに切り替えても、タイマーは動作します。
- ・ 残り時間が0になると音でお知らせします。



タイマー動作前	スタート
タイマー動作中	ストップ

タイマー動作中	最初からスタート (フライバック)
タイマー停止中	リセット

■タイマーの表示について

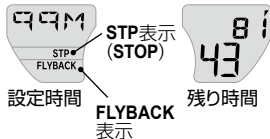
タイマー動作前



タイマー停止中



タイマー動作中



使い終わったら、モードを[TME]に戻します。

クロノグラフを使う[CHR]

クロノグラフは、モードを[**CHR**]にして使います。

- ・ 開始後、他のモードに切り替えても、クロノグラフは動作します。
- ・ 24時間経過すると、自動でリセットされます。



クロノグラフ動作前	スタート
クロノグラフ動作中	ストップ

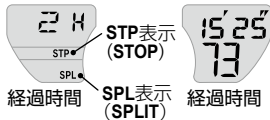
クロノグラフ動作中	スプリット (10秒間表示)
クロノグラフ停止中	リセット

クロノグラフの表示について

クロノグラフ動作前



クロノグラフ動作中



スプリット表示中



クロノグラフ停止中



使い終わったら、モードを[TME]に戻します。

レースタイマーを使う[RACE]

■レースタイマーとは

ヨットレースでの使用を想定した最大60分のタイマーです。

ヨットレースでは、スタート時刻の数十分前からカウントダウンが始まり、スタートとともに所要時間の計測が始まります。

この時計のレースタイマーでは、設定した時間に応じて、スタート時刻までの所定の残り時間ごとに予告音が鳴ります。また、タイマー終了と同時にクロノグラフでの計測が自動的に開始されます。

レースタイマーを使う[RACE]

- レースタイマーのタイマー設定時刻は、次のようになっています。
10～60分間: 5分単位
1～6分間: 1分単位
- レースタイマー動作中に、残り時間が次のようになると、予告音が鳴ります。
11分、10分、6～1の各分
50秒、40秒、30秒、20秒、10秒、5～1の各秒
- レースタイマーのクロノグラフは、最大24時間、1秒単位です。スプリット表示はできません。24時間経過すると、自動でリセットされます。



設定時間

経過時間:
時、分、秒

■レースタイマーの設定時間を変更する



1 りゅうずの位置を0にする

2 りゅうずを回して、モードを[RACE]にする
デジタル表示部に、レースタイマーの設定時間と
残り時間が表示されます。



設定時間



残り時間(停止時):
分、秒



3 りゅうずの位置を1にする

レースタイマーの設定時間が点滅します。



4 りゅうずを回して、設定時間を変更する

- 10～60分間: 5分単位
- 1～6分間: 1分単位
- 設定時間は、記憶されます。

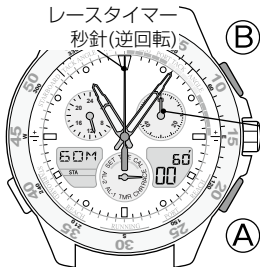
5 りゅうずの位置を0にする

- 使い終わったら、モードを[TME]に戻します。

■レースタイマーを使う

レースタイマーは、モードを[RACE]にして使います。

- 開始後、他のモードに切り替えても、レースタイマーは動作します。
- 残り時間が0になるまで、定期的に音でお知らせします。



タイマー動作前	スタート
タイマー動作中 (クロノグラフ)	ストップ

レースタイマー分針(逆回転)

タイマー動作中 (クロノグラフ)	最初からスタート (フライバック)
タイマー停止中 (クロノグラフ)	リセット

レースタイマーの表示について

タイマー動作前



タイマー動作中



タイマー停止中



クロノグラフ動作中



使い終わったら、モードを[TME]に戻します。

表示する地域を設定する[SET]

時刻、カレンダー、アラームなどで地域を選ぶときに、当面必要のない地域名をスキップさせることができます。



1 りゅうずの位置を**0**にする

2 りゅうずを回して、モードを[SET]にする
デジタル表示部に「SET」または「OFF」が表示されます。



3 りゅうずの位置を**1**にする
「SET」または「OFF」が点滅します。





4 りゅうずを回して、スキップしたい地域名を選ぶ

5 ①ボタンを押す

- ・ ボタンを押すごとに、「SET」/「OFF」が切り替わります。

SET	地域名は表示されます。
OFF	地域名はスキップされ、表示されません。



6 りゅうずの位置を0にする

7 りゅうずを回しモードを[TME]にして、終了する

困ったときは

■基準位置を確認・修正する[CHR]

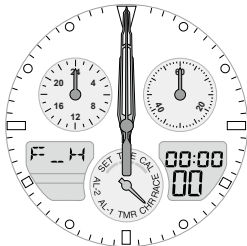
時刻が正しく表示されない場合、各針の基準位置が正しいかどうか確認します。

基準位置とは

針によって時刻を表示するための、基準となる位置のことです。

- 時針：12時
- 秒針：0秒（12時位置）
- 機能針：60（12時位置）
- 分針、24時間針は、時針と連動します。

正しい基準位置



基準位置を確認する

各針の現在の基準位置が正しいかどうか確認します。



1 りゅうずの位置を**0**にする

2 りゅうずを回して、モードを[CHR]にする

3 りゅうずの位置を**1**にする

各針が現在の基準位置に移動します。
デジタル表示部に「F_H」と表示されます。



4 各針の基準位置を確認する

54ページの「正しい基準位置」を参考に、時針、分針、秒針、24時間針、機能針の基準位置を確認します。

基準位置が正しい	手順5に進みます。
基準位置が正しくない	57ページの手順4に進み、基準位置を修正します。

5 りゅうずの位置を0にする

6 りゅうずを回しモードを[TME]にして、終了する



基準位置を修正する

各針が正しい基準位置を示すように修正します。

- ・基準位置の修正が終わったら、時刻・カレンダー合わせを行ってください。



1 りゅうずの位置を[0]にする

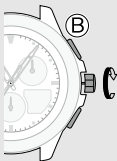
2 りゅうずを回して、モードを[CHR]にする

3 りゅうずの位置を[1]にする

各針が現在の基準位置に移動します。
デジタル表示部に「F_H」と表示されます。

4 りゅうずを時計回りに回して、機能針の基準位置を正しく修正する





5 ⑤ボタンを押す

デジタル表示部に「**HR**」と表示され、時針、分針、24時間針の修正ができるようになります。

・時針、分針、24時間針は、連動します。

6 りゅうずを時計回りに回して、時針、分針、24時間針の基準位置を正しく修正する

7 ⑤ボタンを押す

デジタル表示部に「**SEC**」と表示され、秒針の修正ができるようになります。



8 りゅうずを時計回りに回して、秒針の基準位置を正しく修正する

- ・ ⑧ ボタンを押すと、手順4に戻り再び機能針の修正ができるようになります。

9 りゅうずの位置を0にする

10 りゅうずを回しモードを[TME]にして、終了する



時計の状態と対処方法

時計の状態	対処方法	詳細ページ
-------	------	-------

時刻・カレンダーがおかしい

アナログ時計がデジタル時計と一致していない	この時計は、デジタル表示部とアナログ時計で別々の地域の時刻を表示することができます。 一致させたいときは、デジタル表示部の地域を入れ替えます。	24
アナログ時計の「分」が、デジタル時計と一致していない	時差が30分単位で異なる地域があります。地域設定を確認してください。	24
	基準位置を確認する	54
時刻合わせをしても、時刻が合わない	設定地域を確認する	30
	サマータイムを確認する	32

時計の状態	対処方法	詳細ページ
時刻・カレンダーがおかしい(つづき)		
アナログ時計の時刻合わせができない	この時計は、デジタル表示部の時刻をアナログ時計に入れ替えて、アナログ時計を合わせます。	28
アナログ時計が止まっている	りゅうずを押し込む	—
	© ボタンを押す	20
	充電する	15
デジタル表示部が消えている	明るいところでしばらく待つ	—
カレンダーが正しくない	地域表示を確認する	24
	カレンダーを合わせる	34

時計の状態	対処方法	詳細ページ
針の動きがおかしい		
針が勝手に動き出す	デジタル表示部の時刻合わせが終わると、アナログ時計の修正が始まります。	-
	デジタル表示部の時刻とアナログ時計の入れ替えが行われました。	28
	パワーセーブが解除されています。	19
	モードを[TME]にする	21
針が動かない	充電する	15
	モードを確認する	21
秒針が2秒ごとに動く	充電する	15
秒針が動かない	モードを[TME]にする	-
	直射日光で2時間程度充電する	15

時計の状態	対処方法	詳細ページ
その他		
モード切り替えができない	モード針が表示の中央にくるように、確実に切り替える	21
アラームが予定時刻に鳴らない	アラームの設定地域を確認する	36
予定のないアラームが鳴る	アラーム設定を「 OF(OFF) 」にする	36
	タイマーを確認する	40,46
表示されない地域がある	地域の表示設定を変更する	52

困ったときは

時計をリセット(オールリセット)して、初期の状態に戻すことができます。

オールリセットした後は、必ず次の操作を行ってください。

1. 基準位置を合わせる

57ページ

2. 時刻を合わせる

30ページ

3. カレンダーを合わせる

34ページ



- 1 リューズの位置を0にする
- 2 リューズを回して、モードを[CHR]にする
- 3 リューズの位置を1にする
各針が現在の基準位置に移動します。すべての針が止まるまで、操作しないでください。
- 4 ①ボタン、②ボタン、③ボタンを同時に押す
ボタンから手を離すと、デジタル表示部が全点灯します。
- 5 リューズの位置を0にして、終了する
全点灯が解除されます。

エコ・ドライブ取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけてお使いください》

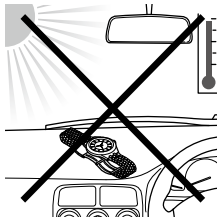
- 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
- 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠ 注意 充電上の注意

- ・ 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温(約60℃以上)での充電は避けてください。

例)

- 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電。白熱灯で充電するときは、必ず50 cm以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
- 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電



《二次電池の交換について》

- この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。
ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなります。

警告 二次電池の取り扱いについて

- お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

警告 指定の二次電池以外は使わないでください

- この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。他の種類の電池を組み込んででも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

防水性能について

⚠ 警告 防水性能について







- 時計の文字板もしくは裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。(1 barは約1気圧に相当します)
- WATER RESIST(ANT) × × barはW.R. × × barと表示している場合があります。
- 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- 日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。

名称	表示	仕様
	文字板または裏ぶた	
非防水時計	—	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST	3気圧防水
日常生活用強化防水時計	W. R. 5 bar	5気圧防水
	W. R. 10/20 bar	10気圧防水、20気圧防水

防水性能について

- 日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキンドIVING)やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

使用例

					
水がかかる程度の使用。(洗顔、雨など)	水仕事や一般水泳に使用。	スキンドIVING、マリンスポーツに使用。	空気ボンベ使用のスキューバ潜水に使用。	ヘリウムガスを使用する飽和潜水に使用。	濡れたままのりゅうずやボタンの操作。
×	×	×	×	×	×
○	×	×	×	×	×
○	○	×	×	×	×
○	○	○	×	×	×

お取り扱いにあたって

⚠ 注意 人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

⚠ 注意 使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたまま時計の操作(りゅうず、ボタンなどの使用)をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
 - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
 - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
 - 入浴するときは時計をはずす。
- 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。
時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど)が外れる危険があります。

⚠ 注意 携帯時の注意

＜バンドについて＞

- 皮革バンドやウレタンバンド(ゴムバンド)は、汗や汚れにより劣化します。
また皮革バンドは自然素材のため磨耗や変形、変色などの経年劣化があります。定期的に交換してください。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。(脱色、接着はがれ)また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドに揮発性薬品、漂白剤、アルコール成分が含まれる物質(化粧品など)が付着しないようにしてください。色落ち、早期劣化の原因となります。また、直射日光などの紫外線も変色や変形の原因となります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンド(ゴムバンド)は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。

- 以下の場合、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
 - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
 - バンドのピンが飛び出しているとき
- お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)。
バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。
その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

＜温度について＞

- 極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

＜磁気について＞

- アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。
磁気の強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

＜ショックについて＞

- ・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

＜静電気について＞

- ・クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

＜化学薬品・ガス・水銀について＞

- ・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

＜保護シールについて＞

- ・時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

⚠ 注意 時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
- 汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド(ゴムバンド)は水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。

この塗料は太陽光や室内照明(白熱灯を除く)などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

保証とアフターサービスについて

<保証について>

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

<修理用部品の保有期間について>

弊社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

<修理可能期間について>

弊社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

<ご転居・ご贈答品の場合>

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

＜定期点検(有償)について＞

• 防水性能について

防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために2～3年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキンなどの交換をご依頼ください。

• 分解掃除(内装修理)について

腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除(内装修理)が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として5年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

＜その他お問い合わせについて＞

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

製品仕様

機種	C660	型式	アナログソーラーパワーウォッチ
時間精度	平均月差±15秒 常温(+5℃～+35℃)携帯時		
作動温度範囲	-10℃～+60℃		
表示機能	時刻	時、分、秒、24時間	
	カレンダー	月、日、曜	
持続時間	・ 充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで パワーセーブ機能あり: 約4年 ・ 充電警告が始まってから時計が停止するまで: 約1.5日		
使用電池	二次電池(ボタン型リチウム電池) 1個		

付加機能	<ul style="list-style-type: none">• 光発電機能• 過充電防止機能• 充電警告機能(2秒運針、CHARGE表示点滅)• パワーセーブ(節電)機能• ワールドタイム機能(30地域+UTC)• 表示地域設定機能(「SET」)• サマータイム機能• クロノグラフ機能(最大24時間、1/100秒単位)(「CHR」)• レースタイマー機能(「RACE」)• タイマー機能(「TMR」)• アラーム機能(「AL-1」「AL-2」)• 針位置移動機能
------	---

製品仕様は、改良のため、予告なく変更することがあります。

<https://citizen.jp/>